

平成 30（2018）年度における第 7 次総合計画の進捗状況について（報告）

1. 結論

第 7 次総合計画では、施策の単位ごとに評価シートを作成して進行管理を行います。平成 30（2018）年度の総合計画事業を取りまとめましたので報告します。

2. 庁内評価

（1）成果指標ごとの判別

		政策の柱						合計
		① 安心して子育て ・子育て	② 健康で元気	③ にぎわいと活力	④ 安全・安心で快適	⑤ 市民が互いに助け 合い学び合う	⑥ 政策を実行・実現	
階 で 評 価	ア 想定を大きく上回る成果 ↑	0	0	0	0	0	0	0
	イ 想定を上回る成果 ↗	3	6	4	10	1	4	28
	ウ 想定通りの成果 →	8	6	16	24	7	4	65
	エ 想定を下回る成果 ↘	3	1	3	7	3	1	18
	オ 想定を大きく下回る成果 ↓	0	0	0	0	0	0	0
	合計	14	13	23	41	11	9	111 (※3)

※1 第 7 次総合計画の施策は 40 本だが、一つの施策に複数の成果指標が設定してある

※2 評価ア～ウは、成果指標ごとに定めた目標値（令和元（2019）年度達成）に対し、実績値が順調に推移していることを示す

※3 成果指標 5 項目の実績値については、現在集計中のため除く

（2）成果指標のうち、「想定を下回る成果」となった事業

※裏面のとおり

（3）基本計画事業ごとの判別

価 に 基 進 捗 計 を 画 評 毎	完了	2	2	1	5	0	0	10
	計画より進んでいる	1	0	2	2	1	0	6
	計画通り	38	19	26	54	16	14	167
	計画より遅れている	0	0	0	0	0	0	0
	合計	41	21	29	61	17	14	183

「２．（２）」「想定を下回る成果」となった事業

番号	施策No.	成果指標	担当課	目標値 (R1)	基準値	実績値		分析と今後の対応
1	102	幼稚園や保育園の保育サービス〔市民意識調査〕	子ども支援課	0.20 点	0.13 点	H28	0.04 点	3 歳未満児の保育の受け皿の拡大により前回から上昇推移。保育料無償化等、今後の社会情勢や保育ニーズに応じた対応が必要。
						H30	0.10 点	
2	103	児童館の利用者数	子ども支援課	194,695 人	194,695 人	H29	184,738 人	たじっこクラブ利用者数の増加、児童数の減少等が要因と推測。たじっこクラブ利用者数の増加はプラス要因であり、現状維持に努める。
						H30	180,932 人	
3	105	小・中学校における教育環境〔市民意識調査〕	教育総務課	0.10 点	0.00 点	H28	▲0.10 点	従来の方針を転換し、「災害級の高気温に対応するため、速やかに保育園、幼稚園、小・中学校に空調機を整備する」ことを第7次総合計画の新規基本計画事業として位置づけ。全小中学校において、空調機整備完了予定。
						H30	▲0.48 点	
4	205	バリアフリー適合証交付施設数	福祉課	10 件(うち 1 件は優良認定)	5 件	H29	5 (うち 1 件は優良認定)	バリアフリー適合証について、事業者の認識が十分でなく、事業者にとって、バリアフリー適合証の認定を受けるメリットがない。交付条件、目標値の見直しが必要。
						H30	5 (うち 1 件は優良認定)	
5	305	観光入込客数	産業観光課	1,500,000 人	1,448,672 人	H29	1,471,410 人	現在集計中だが、速報値では目標を下回る。引き続き観光施策を実施する。
						H30	1,380,782 人 (速報値)	
6	305	観光 P R〔市民意識調査〕	産業観光課	0.00 点	▲0.27 点	H28	▲0.34 点	「半分、青い」の影響から、他市町村の PR 事業がより一層注目されたためと推測。市外からの体験型事業や広域観光等を引き続き実施する。
						H30	▲0.36 点	
7	307	シルバー人材センター登録者数	企画防災課 (高齢福祉課)	510 人	366 人	H29	351 人	定年延長、再雇用等によって、企業等で就業する機会が増えたため、シルバー人材センター登録者数が減少するも、現状維持傾向。引き続きシルバー人材センターとの連携を実施。
						H30	360 人	
8	401	救命率の向上	消防総務課	30.0%	20.0%	H29	18.6%	救急患者の高齢化に伴い、救命率が低下。発見時のバイスタンダー CPR の実施率は上がっているが、目撃のない心拍停止者の割合が高い。救命率の向上のために、救急講習、口頭指導を継続実施する。
						H30	2.60%	
9	406	自然公園来園者数	緑化公園課	34,000 人	30,498 人	H29	28,895 人	来園者数は 3 万人弱で微減しているが、来園者の増加につながるよう PR を実施。今年度から潮見の森のトイレの水洗化事業などの施設整備を実施。
						H30	27,628 人	

10	406	緑化の推進〔市民意識調査〕	緑化公園課	0.02 点	▲0.16 点	H28	▲0.1 点	団体支援による緑化推進を実施。今後は市民参加による市街地緑化の推進を促進する。
						H30	▲0.23 点	
11	411	社会動態（転入－転出）による人口増減数	移住定住	▲200 人/年	▲385 人/年	H29	▲390 人/年	転入者数、転出者数に大きな変動はなく、現在の異動傾向が継続。住宅事情による転入者は減少（転出者も減少）。移住支援施策の拡充、現行の支援制度の PR、金融機関や不動産事業者との連携など、移住者支援を実施。
12		「住宅事情」による転入者数の増加	推進室	250 人/年	165 人/年	H29	149 人/年	
						H30	94 人/年	
						H30		
13	413	渋滞解消のための道路整備〔市民意識調査〕	道路河川課	▲0.70 点	▲0.90 点	H28	▲1.12 点	事業実施途中につき、全ての道路においては渋滞解消に至る成果が得られていない。引き続き迅速な道路整備事業を推進。
						H30	▲1.24 点	
14		簡易な補修や清掃などの道路の維持管理〔市民意識調査〕		▲0.20 点	▲0.30 点	H28	▲0.45 点	道路の他に側溝等細かい箇所の補修・清掃が市民満足に至っていない。引き続き迅速な維持管理事業を推進。
						H30	▲0.48 点	
15	503	人権意識〔市民意識調査〕	くらし人権課	0.00 点	▲0.07 点	H28	0.04 点	人権に関する研修をより効果的なものとするために、受講者が身近に感じられる内容での実施を検討。
						H30	▲0.17 点	
16		子どもの権利に関する意識〔市民意識調査〕		0.10 点	0.01 点	H28	0.06 点	「子どもの権利」について、おとなにも関心を持ってもらえるような PR、セミナー、研修の実施を検討。
						H30	▲0.01 点	
17		男女平等意識〔市民意識調査〕		0.00 点	▲0.14 点	H28	▲0.06 点	男女共同参画が身近なものと結び付けられるような講座やセミナー等を検討し、PR する。
						H30	▲0.22 点	
18	605	広報たじみを毎回読む人の割合〔市民意識調査〕	秘書広報課	61.9%	59.8%	H28	55.2%	広報手段の中では最もポイントが高いが、徐々に減少している。引き続き写真やイラストを多用した視覚に訴えるより読みやすい紙面構成を実施。
						H30	54.8%	